

2022 年 6 月 8 日

報道関係各社 御中

6 月 10 日(金) 外国人観光客の入国再開 円安による訪日需要の増加に期待 コロナ収束後における訪日観光客の購買活動の変化とは

【本件ポイント】

- ◎日本政府は新型コロナウイルス対策で止めていた外国人観光客の入国を 6 月 10 日(金)より再開します。
- ◎新型コロナウイルス感染症の影響により、激減したインバウンド消費。コロナ以前に「爆買い」で注目を集めた**中国人観光客の購買行動について、本学経営学部の辻本法子教授が研究**しています。
- ◎外国人観光客の受け入れ再開後、**インバウンド消費で大きな割合を占めてきた中国人観光客の動向**はどうか注目されますが、本件に関するインタビューや取材が可能です。



【詳細】

日本政府は入国制限緩和により、6 月 1 日(水)から 1 日の入国者数を 1 万人から 2 万人へと引き上げました。6 月 10 日(金)からは新型コロナウイルスの流入リスクが低い国・地域からの外国人観光客の入国も再開されます。2019 年における訪日外国人観光客の消費額は約 4 兆 8,000 億円にのぼっていたのに対し、新型コロナウイルスの影響により 2020 年には 7,400 億円まで激減しています(国土交通省観光庁調べ「令和 3 年度版観光白書について」)。入国制限緩和でインバウンド観光需要の回復に期待が高まる中、足元の円安環境による訪日需要の増加への対応にも注目が集まっています。

桃山学院大学(大阪府和泉市、学長:中野瑞彦 2022 年 5 月 1 日時点:学生数 6,727 人)では、副学長の辻本法子教授(経営学部)が、インバウンド観光における中国人消費者の購買行動について研究しています。辻本教授はコロナ収束後の中国人消費者の購買行動について「インバウンド観光が再開すれば、日本はものが安いので、またたくさん中国の方が来られるようになると思います。ただし、受け入れ態勢を整えることに、真剣に取り組まないと旅行者はそれほど増えていかないのではないのでしょうか。」と述べています。

詳細は、著者インタビュー記事本編をぜひご覧ください。

【著者インタビュー(本学総合研究所 Web サイト)】

<https://www.andrew.ac.jp/soken/research/interview/0002.html>

以上